

キャリアアッププログラム2016（3学期）講座シラバス

【ベーシック科目】

科目名	財務分析の基礎	
副題	財務会計情報を「深読み」したいあなたのために	
受講対象者	新聞・雑誌などで取り上げられる各種財務指標（総資産利益率[ROA]、自己資本利益率[ROE]、流動比率、負債比率等）について、全くの初心者か、または体系だった勉強はしたことがなく中途半端な理解に止まっているような方を対象とします。「懇切丁寧な解説」がモットーですが、財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の構造や役割に関しては初歩的な知識を予めお持ちいただいていることを念頭に授業を進めます。	
講座概要	貸借対照表や損益計算書などの財務諸表は「企業情報の宝庫」。一見無味乾燥な数字の羅列と思われがちな会計情報には、企業の誕生から今日に至るまでの活動が凝縮されています。本講座では、企業活動を活写する財務会計情報の具体的な分析手法を基礎から応用へと順を追って学ぶことで、企業経営の実態を解明するための実力を養成します。	
到達目標	個別の財務指標の意味を理解したうえで、各指標の相互関係を踏まえ、企業の総合的な評価を行う力を身につける。	
授業計画 および開講日	第1回 1/20(金)	ガイダンス、企業活動と財務会計情報
	第2回 1/27(金)	収益性分析（1）：資産収益性（資産利益率）、取引収益性（売上高利益率）
	第3回 2/3(金)	収益性分析（2）：効率性（資産回転率）、収益性指標の相互関係
	第4回 2/10(金)	収益性分析（3）：損益分岐点分析、営業レバレッジ
	第5回 2/17(金)	安全性分析：流動性（短期返済能力）、健全性（調達・運用の安定性）
	第6回 2/24(金)	財務分析の総括：収益性と安全性の統合（自己資本利益率）
授業の形式	座学	
授業の進め方	講義（レクチャー）を主体に行います。授業中の質疑応答は時間の制約で難しいと思われるので、ご質問は基本的に授業終了後に受け付けます。	
教材などの追加負担	教材費の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	本講座は1年おきに開講しており、今回で5度目です。『難しいことをわかりやすく』は私にとり永遠のテーマですが、受講生の皆様のご意見、感想などを参考に少しずつでも前進していきたいと思っています。講義では、財務会計情報をより身近なものとしていただくために、関連する新聞記事や実在する企業の財務データをタイムリーに取り上げながら、平明な解説を心がけたいと思います。	
講師紹介	小谷 幸生（おだに ゆきお） 経済学部 経営学科 教授 経済学部長	
		1951年福岡県生まれ。1974年東京大学経済学部卒業後、三菱銀行（現三菱東京UFJ銀行）入行。31年間の同行勤務のあと、2005年4月より、本学経営学科教授。銀行では、調査業務（企業・業界調査）、証券管理・起債関連業務、国際業務などに携わるとともに、この間、留学（シカゴ大学MBA）を含め9年間米国で勤務。幅広い角度から、内外の経済、企業経営を学ぶ機会を得る。本学では、主として会計系の応用科目（経営分析論、キャッシュフロー会計、管理会計論等）を担当。